

## ＜泉区中央市民センター＞の取組み [目標3-①]

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

泉区中央市民センターの地域内には2つの社会学級があり、毎年地域の方々に向けて、市民センターと共に講座の企画運営をしています。今年は写真の撮り方とハーブティーの淹れ方を体験して参加者が交流する講座を開催しました。

また、今年度は新たに、地域にある児童館や子育て支援クラブと共に、キムチ作りの体験活動型講座を開催したところ、子育て支援クラブの託児もあったため、子育て中の母親が多数参加し好評を頂きました。

日頃、地域で活動している団体同士でも協働してお互いを知る機会は多くないというご意見などもあり、相互理解を深める場としての市民センターの必要性が高まってきていることから、今後もこのような交流機能を高めていきたいと考えております。

＜キムチ作り体験＞



＜写真とハーブティー講座＞



## ＜根白石市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

ここ根白石地域では、地域、学校、家庭が一体となって、子どもたちの健全育成と各地区に伝わる貴重な郷土芸能の伝承・存続に努めています。地域の小・中学生が、各地区に伝わる地域の宝である郷土芸能を受け継ぎ、保存会の皆様のご指導のもと練習を重ね、その成果を『冠のふるさと伝承まつり』で発表しました。これは各地域の取組をまとめて一つの事業にしたものです。根白石小学校の「アセ踊り」、実沢小学校の「大正踊り」、福岡小学校の「鹿踊・剣舞」、根白石中学校の「しの笛・鹿踊」。子どもたちは、学校やPTA・地域・保存会等、関わる方々の思いと熱意をきちんと受け止めて演じていました。また、日本独特の郷土芸能は外国人にとって非常に珍しいものらしく、東北大学の留学生が大勢見に来てくれました。最初は恥ずかしがっていた子どもたちでしたが、最後は仲良くなって一緒に記念写真を撮ったり、身振り手振りで会話を楽しんでいました。

当市民センターを会場に、今年で25回目を迎えた『冠のふるさと伝承まつり』。ふるさとの宝を残そうと伝承・存続に努めている地元の方々の支えになれるように、そして、それぞれの地域への理解と交流が深まり末永く続いていくことを願って、職員一同これからも地域の学習・活動の拠点として取り組んでまいります。

平成27年度（平成27年10月実施）

### 『冠のふるさと伝承まつり』



留学生に「しの笛」を教え、交流しました



中学生が「しの笛」と「鹿踊」を披露しました



一所懸命踊りました



参加者全員で記念撮影をしました

## ＜南光台市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

当センターは東日本大震災で被災し、4年ぶりの再開館となりました。記念すべきこの年の市民センターまつりは、従前の利用サークル発表会から南光台地域全体の文化祭へスケールアップを試みました。そして「南光台地域の交流と活性化を目指す」との趣旨にご賛同いただき、地域内すべてとなる3連合町内会の協力により開催致しました。

すべての地域住民の方々へ参加を呼びかけたところ団体のみならず個人の参加もあり、10月17日・18日の2日間は晴天に恵まれ、たくさんのお客さんで賑わい南光台地域全体のお祭りへの第一歩を歩みだすことができました。



## ＜黒松市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

黒松地区・八乙女地区社会福祉協議会と地域老人会の黒松寿会と共催で「ボッチャ大会」を開催しました。高齢化がますます高まっていく中で、住民同士の関わりが乏しくなっている現状があります。そこでバリアフリースポーツであるボッチャを通して高齢者の運動を促し、また地域住民が気軽に集える場を設けたことで、地域住民同士の交流を図る機会となりました。

黒松地域での実施は5回目で、恒例行事の一つとして参加して下さる方が回を追うごとに増加しています。八乙女地区については八乙女コミュニティーセンターを会場とし、これまで市民センターに足を運ぶことができなかった方々にも参加いただくことができました。

社会福祉協議会においては、高齢者の行事や多くの地域の方が気軽に参加しやすい場の提供ができ、次年度以降の継続開催へとつながることで住民同士の関わりを広げていく足掛かりとなりました。



## ＜将監市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

将監市民センターでは、11月に「将監沼の自然」とふれあいを育む会と将監地区社会福祉協議会との共催により「ふれあいコンサート」を開催し、地域の皆様に音楽を通じて豊かな心を育む機会を提供しており、多くのご来場をいただいております。

また、毎年4月には、市民センターにおいて「将監桜祭り」が開催され、将監の桜並木を愛でながら、地域の多くの方々のご来場されています。

また、3月には、将監地区社会福祉協議会主催の講演会を開催するにあたり、講師の紹介・調整や会場の確保等で地域の皆様のお手伝いをさせて頂いております。



(4月 桜満開の中で地域の学校や団体が参加し祭りを盛り上げました)



(11月 お琴や尺八などの和楽器の演奏に地域の方々は大満足でした。)

## 〈加茂市民センター〉の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

加茂地域には、仙台の4つの歴史公園の1つ、長命館公園があります。

平安時代末期、奥州が藤原氏の所有時代に、源頼朝を始め、関東軍の奥州侵攻に対する北の防衛施設として築城され、5つの曲輪がある山城です。森の豊かな自然環境がそのまま残され、近隣住民は元より幼稚園や学校、福祉文化施設の子供から大人まで、四季折々に50種類以上の自然木や様々な動植物が観察できる憩いの場としての公園で、特に春の約800本のさくらの花が咲く時期には、カタクリ広場のカタクリの花、梅園の梅の花が同時に楽しめる近隣にはない里山としての公園です。

4月の第3土曜日には10年ほど前から、地域の1団体と1企業が主体となり、さくら祭りが行なわれていましたが、地域の皆さんに親しまれ継続される地域行事となるように、地域全体で取り組んでどうかと提案し、各種団体に声掛けしたところ、長命館公園さくら祭り実行委員会が立ち上がり、手づくりのさくら祭りが開催されるようになりました。市民センターはこの祭りが地域活性化へとつながるよう、後援という立場で様々な支援を行っています。

### さくら祭り開催状況



## ＜高森市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

### 野鳥観察会

H28.1.14（木）とH28.1.22（金）に総合学習の一環として、小学校と市民センターが連携し、日本野鳥の会会員に講師を依頼して、高森小学校及び高森東小学校3年生に向けて野鳥観察会を実施しました。

事前に日本野鳥の会から送って頂いた「ミニミニ野鳥図鑑」を配布し、予習をしてもらいました。当日は、双眼鏡の使い方や野鳥を発見した時静かにすることなどの説明を受けた後、各班に分かれて出発しました。

高森東公園の雑木林に入り、すぐにコゲラが5m弱の至近距離でお出迎えしてくれました。エサ採りに夢中で10分位観察を続けることができました。

ヒヨドリ、ムクドリ、雀、カラス、ハクセキレイ等10～12種類の野鳥を観察することができました。

最後に、野鳥の会会員が野鳥の名前を英語の名前で説明してくれたので、子ども達は興味津津でした。大きくなっても高森の自然を思い出してほしいと思いました。

### 野鳥観察会の様子



出発前の事前説明



野鳥を探している様子

## ＜高森市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

### 高森絆コンサート

震災以降、地域住民の絆と活性化を図るため、高森東公園堤の北側に「音楽の広場」を作り、中学校、小学校、幼稚園、保育園及び市民センターを利用しているサークルのコンサートを実施しています。このイベントも定着しつつあり、今年で4回目を迎えることになりました。

実施したコンサートの内容は以下のとおりです。

回	コンサート名	出演団体	実施日(曜)	来場者数
1	春の野外コンサート	さわやかコーラス 高森東小4年生 高森明泉幼稚園	27.5.29(水)	318名
2	夏の野外コンサート	高森東小2年生 ポコアポコ ホライゾン学園	27.7.15(水)	209名
3	秋の野外コンサート	高森サーラ保育園 高森東小6年生 おひさま(オカリナ) 高森中2年生	27.11.11(水)	229名
4	冬の室内コンサート	片倉加寿子カルテット&ボーカル ジャズコンサート	27.12.12(土)	150名



音楽広場でのコンサートの様子



## ＜松陵市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

### 【松陵ふれあいコンサート】

今回で24回目となる「松陵ふれあいコンサート」を10月18日（日）午後、泉松陵小学校体育館を会場に開催しました。

出演者が、地域の小学校2校、中学校2校、高校3校、一般団体・個人と小学生～社会人まで総勢220名の大合同演奏が、他のコンサートではあまり見られない迫力ある特徴的なコンサートです。また、会場設定・運営などは、地域団体、地域の高校生などの大々的な協力をいただき行われました。

年度当初からの実行委員会などによる準備、合同練習などを通して団体間・異世代間交流が図ることができました。また、なにより地域に根ざした手作りコンサートとして、来場者の方に感動していただくことができ、地域の活性化の一助につながる機会となりました。



地域の方々や高校生などで会場準備



吹奏楽大合奏の様子

迫力の大合同演奏

## ＜寺岡市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

寺岡市民センターでは寺岡小学校や泉警察署と連携し、町内会、社会福祉協議会、防犯協会、110番の家の方々などの地域諸団体からの協力を得て、寺岡小学校の新1年生に対して講座「子ども110番の家に行ってみよう」を行い、子供たちに「自分の身は自分で守る」術を学んでもらうとともに、実際に地域の「110番の家」を訪問することで地域を身近に感じてもらいました。

また、本講座により学校と町内会や社会福祉協議会、防犯協会など地域諸団体とのつながりが深まり、地域ぐるみで子供たちの健やかな育ちを守るという意識の高揚につながるなど、今後の地域における諸団体による各種活動においても地域の活性化のための連携・協力する基盤の確立につながる機会となりました。



地域諸団体の方が見守る中説明受け



泉警察署による「いかのおすし」教育



110番の家を訪問し挨拶



110番の家を訪問しお話を聞く

## ＜長命ヶ丘市民センター＞の取組み [目標3-①]

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

### 学校に泊まろう！

長命ヶ丘おやじの会が中心となり設立されたロングライフヒルコミュニティ協議会が主催となり、今年度も長命ヶ丘小学校の児童を対象に「学校に泊まろう！」が開催されました。参加児童103名は、サバメシ作りや夜の学校探検など二日間に沢山のプログラムを楽しみました。

ロングライフヒルコミュニティ協議会は、地域内の小・中学校、高校、各PTA、子ども会育成会、商店会などで構成されており、これらの団体が一致協力してこの事業を実施しています。各団体のメンバーがスタッフとして携わることで、交流が深まり、若い世代による地域づくりにもつながっています。当市民センターは将来のまちづくりにつなげていくために、各団体間のコーディネーター役としてこの事業を積極的に支援しています。

なお、今回は子どもたちの世話役として、泉館山高校など約30名の高校生がボランティアとして参加しました。子どもたちもお兄さんやお姉さんと楽しく交流ができ、高校生も貴重な体験による学びができ、新たな成果につながりました。



さあ始まるよ、整列して



サバメシを作るよ



もう少しでサバメシができるよ



お兄さん、お姉さんありがとう

## ＜松森市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

今年度初めて、松森市民センターは鶴が丘児童センター・鶴が丘保育所との3館共催事業に取り組みました。これらの施設と連携することで、それぞれが持つ人材や情報などを活用し、地域に根差した子育て支援の充実を図ることを目指しています。

1回目の講座は、気軽に親子で参加できる「ギター演奏とおはなしコンサート」を市民センターで開催し、多くの皆さんに楽しんでいただくことが出来ました。そして2回目となる託児付き食育講座（調理実習）では、保育所の栄養士による実習指導の他、児童センターなどの協力で、多くの託児の子どもたちを受け入れることが出来ました。

このように3館連携することで、子育て世代のニーズに即した内容の講座を提供することに大いに役立ちました。

今後も児童センターや保育所との情報交換の機会を持ち、顔の見える関係性の中で、それぞれが地域の方々に望まれる施設になるように連携を推し進めていくことを目標としていきます。

### 12/18（金） 「こどもの杜 クッキング」

### 6/6（土） 「ギターとおはなしコンサート」



## ＜桂市民センター＞の取組み [目標3-①]

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

桂地区には公園や緑地を刈り込み除草している公園愛護協力が6団体あり、桂島緑地未来プロジェクトが加わり7団体になりました。それぞれの協力は町内会単位で組織されており、これまでは情報交換する機会はほとんどありませんでした。町内会に所属していない桂島緑地未来プロジェクトでは個人の機材だけでは足りず、各町内会から機材を借用することが多くありました。

情報を共有することで活動の範囲が広がるのではないかと考え、平成26年7月に市民センターが各協力会に呼びかけ情報交換会を開催しました。情報交換会では桂4丁目に隣接する19号緑地、桂2丁目の高速道路土手の桂3号緑地、桂12号緑地など作業が行き届かない場所が点在していることが分かりました。

多くの機材と多くの人手で作業することで効率的、効果的な刈り取り作業をすることができることから、お互いに作業協力依頼ができるようにするために桂地区公園愛護協力会連絡会を発足しました。

平成26年11月と27年3月に桂4丁目19号緑地の大人の背丈以上の葎刈り作業を10台の草刈り機を持ち寄り30名で行いました。

平成27年6月に行った桂4丁目19号緑地の作業では各町内会草刈隊のメンバーに加えて4丁目在住の方も数名参加しました。見晴らしが良くなった緑地の様子に近所の方も喜んでいました。

平成27年7月の桂2丁目高速道路土手の桂3号緑地、桂12号緑地草刈作業では桂島緑地未来プロジェクトに作業協力依頼がありました。

平成27年9月は桂島緑地下の堤南側一帯の草刈作業依頼を行い、12台の草刈機と要員を依頼した共同作業を行いました。



## ＜南中山市民センター＞の取組み【目標3-①】

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

年度当初に開催した地域懇談会で、子ども会育成会の新役員から「経験がないので、子ども会行事でどんなこと企画したらいいかわからない」という話題が出て、市民センターでは地域の人材を紹介する等、いろいろなお手伝いができることをお伝えしました。

その後、子ども会育成会から「大勢の小学生にものづくりの指導してくれる講師を紹介して欲しい」や「少人数で歓送迎会を行ないたいがどんなアトラクションがいいか相談したい」という申し出がありました。

そこで市民センターが仲介し、市民センターで活動しているサークルや地域の企業に、子ども会の運営のお手伝いや講師を引き受けていただくことができました。

子ども会育成会からは、「地域の方が協力してくださり助かりました。これからもつながりを大切にします」という報告があり、また協力したサークルや企業からも「地域の役に立てて良かったです。また声を掛けてください。」という感想をいただきました。



子ども会育成会との地域懇談会  
なごやかな雰囲気情報交換しました

歓送迎会で、フラワーアレンジに初挑戦。  
みんな上手に出来ました。

